

- 問1 アメリカ合衆国の経済と貿易の特徴について、統計上の事実に基づいた正しい説明を選びなさい。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- 1人あたりのGNIは世界最高水準にあるが、貿易収支は輸入額が輸出額を上回る赤字の状態にある。
 - 1人あたりのGNIは非常に高い水準にあり、その強力な経済力を背景に多額の貿易黒字を計上している。
 - 1人あたりのGNIは南米のアルゼンチンなどの諸国よりも低いが、輸出が輸入を上回る貿易黒字となっている。
 - 1人あたりのGNIは低水準にとどまっており、自国の工業が未発達なため製品の輸入が多く貿易赤字となっている。
- 問2 アメリカ合衆国の経済規模と国土の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
- 国内総生産 (GDP) は世界最大であるが、国土面積は日本の約25倍程度であり、ロシアやカナダに比べると極めて狭い。
 - 面積は中国と同程度に広く、国内総生産 (GDP) が単独の国として世界最大であるため、世界最大の経済大国と呼ばれている。
 - 面積は中国の約半分であるが、1人あたりの国内総生産 (GDP) が世界で最も高いため、経済大国としての地位を築いている。
 - 世界最大の面積を持つ国であり、その広大な土地から産出される資源によって、国内総生産 (GDP) が欧州連合 (EU) を上回っている。
- 問3 日本の輸入統計において、カナダからの輸入割合が約25%で最も高く、次いでアメリカ合衆国が約19%、オーストラリアが約17%となっている品目はどれですか。パンや麺類の原料として広く利用されているものを選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- とうもろこし
 - 小麦
 - 大豆
 - 砂糖
- 問4 アメリカ合衆国中央部のグレートプレーンズでは、地下に広がるオガララ帯水層から地下水をくみ上げ、大型の散水機を円を描くように回転させる「センターピボット方式」による大規模な農業が行われています。この農業の継続にともない、現在発生している深刻な環境問題として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
- 不適切な放牧と森林伐採にともなう、急速な砂漠化の進行
 - 化学肥料の大量使用による、周辺河川の深刻な水質汚染
 - かんがいによる塩分の集積を原因とした、耕作放棄地の拡大 (塩害)
 - 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下
- 問5 ロッキー山脈やアンデス山脈を含む造山帯は、地球の表面を覆うプレートの動きによって形成されました。この造山帯で見られる自然環境の特色について、背景を含めた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- 非常に古い時代に形成された安定した地塊であるため、大規模な地震の発生はほとんどなく、金属資源の採掘が盛んである。
 - 長期間の浸食を受けた古い山地であるため、標高は比較的低く、なだらかな地形が広がっており、地盤も安定している。
 - 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。
 - ユーラシア大陸から続く巨大な山系の一部であり、プレートの衝突によって形成されたため、火山はほとんど存在しない。
- 問6 アメリカ合衆国における移民の出身地域は、時代とともに大きく変化しています。1960年の統計ではヨーロッパ州からの移民が過半数を占めていましたが、2020年の統計ではその割合が激減し、代わって出身地域別人口割合で最も高い比率を占めるようになった地域はどこですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- オセアニア州
 - アフリカ州
 - 南北アメリカ州
 - 東ヨーロッパ地域
- 問7 アメリカ合衆国の産業の変化と地域的特色について述べた文のうち、サンフランシスコ周辺に位置する「シリコンバレー」の説明として最も適切なものを選択してください。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。
 - 五大湖周辺に位置し、かつては鉄鋼業や自動車産業で栄えたが、現在は施設の老朽化が課題となっている。
 - 北緯37度以南の温暖な地域に位置し、安価な労働力を背景に航空宇宙産業や石油化学工業が発展している。
 - 広大な土地を利用した企業の農業が盛んであり、バイオテクノロジーを用いた穀物の品種改良が行われている。
- 問8 アメリカ合衆国の中央部に広がる乾燥した地域では、上空から見ると巨大な円形の耕作地が数多く並んでいる様子が確認できます。このような景観が作られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- 山地の斜面を階段状に切り開いて土地を有効活用しているため
 - 円形の移動式フェンスを用いて家畜の放牧範囲を管理しているため
 - 斜面の侵食を防ぐために等高線に沿って耕作を行っているため
 - 360度回転する散水機を用いた大規模な灌漑を行っているため
- 問9 北アメリカ州の経済について、カナダの輸出額の7割以上が特定の隣国に集中している状況の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- カナダがかつてイギリスの植民地であった歴史から、隣国を経由してのみ輸出が許可されているため
 - 隣国が世界最大の農業国であり、カナダ産の全ての農産物を独占的に買い取る契約を結んでいるため
 - 地理的な近接性に加え、自由貿易協定によって関税が原則としてかからない仕組みがあるため
 - 隣国の人口が急激に減少しており、カナダからの労働力の流入と製品供給を依存しているため
- 問10 2000年代初頭と現在の南北アメリカの貿易状況を比較した資料によると、アメリカ・カナダ・メキシコ間の強い結びつきに加え、近年ではアルゼンチンをはじめとする南アメリカの国々と、中国などのアジア諸国との経済的な関わりが急速に強まっています。南アメリカにおいて、アルゼンチンやブラジルなどの国々が域内での経済統合を目指して結成している組織として適切なものを選びなさい。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- 南米南部共同市場 (メルコスール)
 - ヨーロッパ連合 (EU)
 - 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 - 北米自由貿易協定 (NAFTA)
- 問11 北アメリカ大陸の中部に広がる、年平均気温が約10度で夏季と冬季の寒暖差が大きく、年間を通じて一定の降水量 (約900mm程度) がある地域で行われている農業の特色について、背景を含めて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 標高が高い山岳地帯であるため、涼しい気候を活かしてアルパカの放牧やジャガイモの原産地としての農業が行われている
 - 広大な平原と適度な降水量を活かし、大型機械を用いた効率的な手法で小麦などを生産する「適地適作」が行われている
 - 降水量が少なく乾燥しているため、センターピボットと呼ばれる散水装置を用いて、地下水を汲み上げながら綿花を栽培している
 - 偏西風の影響で一年中温暖な気候を活かし、都市向けの生鮮野菜を生産する近郊農業が中心となっている
- 問12 カナダの小麦統計において、年間の生産量が約3753万トンであるのに対し、輸出量が約1964万トンに達している数値から読み取れる、カナダの農業の特色として適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- 世界最大の生産量を誇る一方で、国内消費を補うために輸入も盛んに行っている。
 - 生産量の5割以上を輸出に回しており、世界市場への供給地としての役割が強い。
 - 広大な土地を利用して多角的な農業を行っているが、小麦の自給率は低い。
 - 生産量の大部分を国内で消費しており、輸出に回される割合はわずかである。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1人あたりのGNIは世界最高水準にあるが、貿易収支は輸入額が輸出額を上回る赤字の状態にある。	1人あたりのGNIは「国民1人あたりの経済的な豊かさ」を示す指標であり、アメリカ合衆国はこれが非常に高い水準にあります。一方で、貿易収支は「輸出額と輸入額の差」を指します。アメリカは消費活動が非常に活発であることや、製造拠点の海外移転などの要因により、輸出総額を輸入総額が大幅に上回る貿易赤字の状態が続いています。この事例は、経済水準の高さと貿易収支の黒字・赤字は必ずしも一致しないことを示しています。
問2	答え 2 面積は中国と同程度に広く、国内総生産（GDP）が単独の国として世界最大であるため、世界最大の経済大国と呼ばれている。	アメリカ合衆国の面積は約963万平方キロメートルであり、これは中国の面積に匹敵する広さです。また、経済の大きさを表す指標である国内総生産（GDP）においても、他国を圧倒する数値を示しており、世界経済において極めて重要な役割を果たしています。
問3	答え 2 小麦	日本の小麦は自給率が低く、輸入の約4割以上をカナダとアメリカ合衆国の北米2カ国が占めています。広大な土地を利用した大規模な機械化農業が行われている北米地域は、日本にとって重要な食料供給源となっています。
問4	答え 4 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下	アメリカ合衆国のグレートプレーンズで行われているセンターピボット方式のかんがい農業では、オガララ帯水層という広大な地下水資源に頼っています。しかし、1950年から2015年の間に地下水位がある地点で約70メートルも低下したというデータがあるほど、自然に補充される量を上回るスピードで地下水をくみ上げ続けており、水資源の枯渇が大きな問題となっています。塩害や砂漠化も世界的な環境問題ですが、この地域の地下水利用に直結する課題としては地下水位の低下が最も適切です。
問5	答え 3 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。	環太平洋造山帯は「新期造山帯」に分類されます。これは、比較的新しい地質時代に造山運動（山を作る動き）が始まり、現在も進行している地域を指します。そのため、エベレストなどを含むアルプス・ヒマラヤ造山帯と同様に、山が鋭く高く、地震や火山などの自然災害が起こりやすいという因果関係があります。対照的に、長年の浸食で平坦になったものは古期造山帯や安定陸塊と呼ばれます。
問6	答え 3 南北アメリカ州	アメリカ合衆国の移民構成は、20世紀半ばまではヨーロッパ出身者が中心でしたが、1960年代以降の法改正や地理的な近接性を背景に、メキシコや中南米諸国を含む南北アメリカ州からの移民が急増しました。これに伴い、スペイン語を話すヒスパニック（ラテン系）の人々が社会の中で大きな存在感を持つようになり、多文化社会としてのアメリカを象徴する変化となっています。
問7	答え 1 コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。	シリコンバレーは、従来の重工業中心の産業構造から、知識集約型の先端技術産業（ICT産業）への転換を象徴する地域です。選択肢にある「北緯37度以南」の説明はサンベルト全体の特徴を指しており、五大湖周辺の説明はラストベルト（古くなった工業地帯）を指しています。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれることもありますが、特にICT産業の集積地としての個別の特徴を捉えることが重要です。
問8	答え 4 360度回転する散水機を用いた大規模な灌漑を行っているため	北米大陸の降水量が少ない地域では、地下水を汲み上げ、アーム状の散水機を回転させて水をまく「センターピボット方式」が採用されています。散水機が届く範囲にのみ作物が育つため、結果として円形の農地が形成されることになります。選択肢にある等高線耕作や棚田は、主に斜面地で用いられる手法であり、この平原で見られる円形の景観とは異なります。
問9	答え 3 地理的な近接性に加え、自由貿易協定によって関税が原則としてかからない仕組みがあるため	アメリカ合衆国とカナダは地理的に隣り合っているだけでなく、長年にわたり自由貿易協定を締結してきました。これにより、関税コストを低く抑えながら国境を越えた分業体制（サプライチェーン）を築くことが可能となり、カナダの輸出においてアメリカ合衆国が極めて高いシェアを占める要因となっています。
問10	答え 1 南米南部共同市場（メルコスール）	アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイなどが加盟する経済組織で、域内の関税撤廃などを通じて経済発展を図っています。近年の貿易統計では、かつて主要な貿易相手だったアメリカとの関係だけでなく、資源や農産物の輸出先として中国や日本との結びつきが強化されている点が、現代の南北アメリカ経済の特徴です。
問11	答え 2 広大な平原と適度な降水量を活かし、大型機械を用いた効率的な手法で小麦などを生産する「適地適作」が行われている	この地域は「世界の食糧庫」とも呼ばれ、冷帯や温帯の気候区分にまたがっています。広大な土地と、年間を通じて極端な乾燥がない気候条件を背景に、それぞれの土地の気候や土壌に最も適した作物を栽培する「適地適作」が徹底されており、高度に機械化された大規模農業が展開されています。
問12	答え 2 生産量の5割以上を輸出に回しており、世界市場への供給地としての役割が強い。	カナダは広大な国土と機械化された大規模な農業を背景に、自国での消費を大きく上回る小麦を生産しています。統計上、生産量の約半分以上を輸出に回していることから、カナダの農業が単なる自給目的ではなく、世界各国へ食料を供給する輸出指向型の産業であることが理解できます。